

なないろだより



調布なないろ保育園11月園だより

令和7年11月4日(火) 調布なないろ保育園 園 長 髙橋真登香

想いを寄せて…

ついこの前まで、半袖でも汗ばむほどの日があったのに、ここ何日かで、特に朝晩が冷え込み、急に冬の足音を遠くの方でかすかに感じるくらいの、そんな日が続くようになりました。それでも日差しの当たる場所では空気も澄んでいて、体を気持ちよく動かせる陽気でもあり、縁庭での遊びは日々深まっていることを感じています。毎日遊び、こども達の育ちを支えてくれているなないろ保育園の縁庭…。こども達のここまでの日々の育ちは、ドキュメンテーションにて、「今の姿」に視点を当ててお伝えしてきました。また、幼児クラスでは「なないろスーパーランド」の運動遊びのコーナーで、保護者の皆さんにも観ていただくことが出来ました。なないろスーパーランドに至る経緯においては、そこまでの過程に山あり谷あり…。と、もっとお話ししたいこともありますが、きっとと一っても長くなってしまうので、詳しくは事務室前の掲示物をぜひ見てもらえたら…と思います。ちなみになないろスーパーランドは、当日がゴールではありません。ここまでこども達が作ってきた遊び、みんなで想いを寄せ合いながら、それぞれの「好き!」を存分に楽しんで、それを形にしてきたことが今後どうなっていくのか、ここから先のこども達の進化にも、要注目です!!

そしてこの秋、これまで紡いできたこども達と縁庭での歴史に新たなページが加わります。みんなが遊び、親しんできた「トムソーヤ」とのお別れの日がいよいよ今月末に近づいてきました。今まで当たり前にこども達を迎えてくれていたトムソーヤ…。開園当初から設置されており、在園中のお友達はもちろん、これまでも約350人の退園・卒園児の旅立ちも見送ってきてくれました。みんな大好きだったトムソーヤですが、残念ながら老朽化による耐用年数も迫っており、このタイミングで工事する運びとなりました。ここまでみんなの育ちを支えてくれた、トムソーヤに「ありがとう!」をみんなで伝えようという事で、なないろスーパーランドの日から工事開始の日まで、カウントダウンを開始しました。あと2週間程度のわずかな期間ではありますが、これから工事までの間に、これまでの思い出をみんなでトムソーヤに寄せ書きしたり、イラストを描いたりしてそれぞれの想いを馳せながら、工事当日を迎えようと思います。「ありがとう!」と「おつかれさま!」を伝え、撤去の様子はこども達と一緒に…今度は私達が、トムソーヤの旅立ちをしっかりと見送ります。どんな思いでみんなはその姿を見届けるのかな…こども達だけでなく、おとなも(むしろおとなの方が…)涙が出ちゃうかもしれないなぁ……~

でも、トムソーヤ撤去後はすぐに次のステージの幕開けです。新たな縁庭には、今までなかった「山」が誕生します。これまでトムソーヤで培ったこども達の育ちを、この新しい「山」で紡ぎ、繋げていきます。どんな縁を繋ぐお庭になっていくのか…そこで遊ぶこども達の姿をあれこれと想像しながら、今からワクワクしています。保護者の皆さんも、こども達と一緒に完成をどうぞお楽しみに♥















【11月】

- 1日(土)なないろスーパーランド
- 6日(木) お茶指導(5歳児)
- 7日(金)、12日(水)ワンコインカット%
- 13日(木) わくわく♪異年齢児交流(幼児クラス)
- 17日(月) SV 観察
- 18日(火) ちょうふの里訪問(5歳児) / おつカレー
- 19日(水)観劇会(5歳児)
- 20日(木) 誕生会 / おつカフェ 縁庭工事開始
- 21日(金) 3歳児秋の遠足

太鼓・よさこい指導(4・5歳児)

- 25日(火)水害水平実地訓練
- 26日(水) 4歳児秋の遠足
- 27日(木)素話の会「おはなしカメさん」
- 28日(金)5歳児秋の遠足
- 29日(土)保育講座

【12月】

2歳になります 3歳になります

4歳になります

5歳になります 6歳になります

- 3日(水)離乳食講
- 8日(月) SV 観察
- 9日(火)お茶指導(5歳児)
- 10日(水)餅つき会
- 12日・19日(金)太鼓・よさこい指導(4,5歳児)
- 16日(火)歯みがき指導(幼児クラス)
- 18日(木) 誕生会 / おつカフェ
- 19日(金)仲よし献立の日
- 23日(火) わくわく♪異年齢児交流(幼児クラス)
- 25日(木) クリスマス会



- *寒くなってくる時期ですが、保育園では床暖房を使用していますので室内は適度な暖かさが保たれています。 子どもは大人より体温が高いので、基本的には半袖肌着+長袖 T シャツ、ズボンで過ごせます。なるべく薄着 の習慣をつけるよう心掛けていきましょう。
- *11/20 より縁庭北側部分の工事が入ります。しばらくの間ご迷惑をお掛けしますが、工事車両の出入りがありますので、ご注意下さい。
- *第三者評価の利用者アンケートが始まります。ご協力をお願いします。詳細は配付したおたよりをご覧下さい。 尚、今回のアンケートは QR コードから読み込んで答えて頂く形式になっています。締め切りは 11/17(月)です。



2名

1名

2名 3名

1名



小学5年女子と小学4年男子、年子の子育て真っ最中です。下の子が生まれてから双子のように育ってきた2人。 遊ぶ時も2人で仲良く遊び、食べる時も同じものを同じだけ食べたり(どちらかが多いとケンカになるので います。)、お 風呂も2人で入ったりといつも一緒 → そんな2人もあっという間に小学校に入学。姉の入学当初は「ママと一緒に 行く!」と言って泣いていたこともありましたが、次の年の4月1日、弟が初の学童登室の朝は、ひと足先に学童に 行っていた姉が「一緒に行ってあげる!いろいろ教えてあげるからね!」と頼もしい姉の姿に成長。2人並んで家の 前の道を歩いて行く後ろ姿が印象的で「歳が一つしか変わらないのに頼もしいお姉さんになったなぁ」と感動したの を覚えています。

小野 理恵

来年から小学生になる6歳の娘の子育て真っ最中です。色々と出来ることが増えてきて、成長を感じる毎日です!保育園から帰ってくると、描いてきた絵や折ってきた折り紙を見せてくれることが密かな楽しみです。保育園に送っていった時には、小さい時は「一緒にお支度して・・・」などと言っていたのが、今では「バイバーイ」とあっさり行ってしまうことに寂しさを感じたり、家で髭を剃る僕を見ると「おっさんがお洒落しているね!」などと生意気なことを言ったりします。

今思うと、楽しかった思い出と共に、イライラして怒ってしまったこと、きちんと話を聞いてあげなかったことなどを今ふと思い出す時があります。本当に大きくなるのは早く、あっという間に自分の元からも離れていく気もします。今この瞬間を大切にしてあげながらこれからも一緒に過ごしていき、良い思い出をたくさん作っていきたいです。

加藤 孝昴

22年前の4月、長女が生まれ、妻は産休明けで仕事に復帰したので、 6月から3月まで育休を取りました。身の回りの世話をしたり、離乳食を 作ったり、もう二度とできない毎日が懐かしく思います。ハイハイができ るようになると、一緒に横になっている私のお腹に乗ってきて、少しひげ が伸びた顔にほっぺたをすりすりするのが大好きでした。あまりにも良 い笑顔なので、写真を撮って「ひよこクラブ」という育児雑誌の読者コー ナーに送ったところ掲載になり、今でも雑誌を大切に保管しています。私 とよく遊んでいたせいか、幼児になると男の子たちとよく遊び、プリキュ アではなく、戦隊ヒーローが大好きな活発な女の子になりました。おかげ で怪我が絶えません。鬼ごっこをして手や足を骨折したり、かかとが紫色 になって腫れていたり、病院に連れていく度にまた怪我をするのではな いかと心配で、悲しくなったことを覚えています。でも、活発なおかげで、 バレーボールを始めると中学では主将、高校では副主将になり、都大会や 関東大会に出場するくらいスポーツにのめり込むことができました。そ んな頑張る娘を会場で大声を出して応援できたことも、親になってとて も良かったと思う事です。

長女とは区立体育館の個人開放でバレーボールをしたり、原宿でオムライスを食べたり、今でもよく2人で出かけることがあります。大きくなっても父親の私との距離が変わらないのは、小さい頃、一緒に過ごしたおかげだと思います。

鈴木 章夫

我が家には5歳の息子がいます。毎日バタバタと忙しく、あっという間に一日が過ぎてしまいます。

帰宅後は早目に布団に入れるといいな…と思っていると、関わる時間があまりないのですが、 最近は一緒に何か夕飯を作ることを楽しんでいます。一人で作った方が速いのですが、お迎えに 行くと「今日のご飯決まっている?」と聞いてきます。「お魚にしようかなーって思っているよ!」 と伝えると、「じゃぁ、お魚で何か作ってあげるよ!」とお手伝い宣言!実際には遊びたくなってしま う時もありますが、簡単なお手伝いをしてもらっています。

そんな息子のお気に入りメニューは【トマトのパン粉焼き】です。少し前にスーパーに買い物に言った際、トマト売り場にレシピがあり、それを作りたいということで一緒に作りました。自分で作ったものは格別!それから何度か一緒に作り、その後はナスやシイタケのパン粉焼きを作りました。次は何のパン粉焼きを作ろうかわくわくしています。それ以降、スーパーに行くと、おすすめレシピを見ることがブームになっています。

今の時間はもう戻ってくることはないので、一日一日を大切に子どもの好きなことを一緒に楽しみ ながら子育てをしていきたいと思います。

江藤 梨絵子